

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

鶴見小	学校	児童数	45
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	12.95	18.41	28.36	39.36	48.29	9.52	156.50	23.77	51.10
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	15.48	17.64	37.00	36.23	26.86	10.07	137.05	11.61	50.05
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

体力合計点について、男子の平均は51.10点で大阪市の平均点より0.03点下回った。女子の平均は50.05点で大阪市の平均を2.42点下回った。種目別の結果から、男子は20mシャトルラン、立ち幅跳び、ソフトボール投げが大阪市、全国平均を上回ることができた。女子は、すべての種目において、大阪市、全国平均を上回ることができなかった。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の肯定的回答は、男子は90.9%であった。女子は91.3%で、全国平均より5.1%上回っていた。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子13.6%、女子は21.7%と全国平均より割合が高く、特に女子はほぼ体育の時間以外は運動していない児童が多くいる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

令和6年度は、全校児童の取り組みとして、かけあし週間を計画・実施した。なわとびについては、なわとびカードを作成し、各学年で取り組み、児童の取り組む意欲を高めた。スポーツフェスティバルを年間2回、週間として行い、児童の運動への関心を高められるような取り組みを行った。

体育科の授業の中で、持久性・柔軟性・瞬発性がより向上するように努め、児童の達成感や意欲を高める取り組みを多く取り入れて進めていく。